

EX5500

HITACHI

EX5500

■ 運転質量

バックホウ：518,000kg

ローディングショベル：518,000kg

■ バケット容量

バックホウ：29.0m³

ローディングショベル：27.0m³

■ エンジン出力：971kW (1,320PS) ×2



掘削力 GIANT

みなぎるパワーで
大作業量を実現。



■ダンプトラックへの標準積込み回数

機種 (バケット容量)	ダンプトラック (山積み)	260t 級	290t 級
バックホウ 29.0 m ³		5	5
ローディングショベル 27.0 m ³		5	5-6

高い作業性を生む
大出力エンジン

971kW (1,320ps)×2

EPA 排出ガス1次規制対策型エンジン

EPAの排出ガス1次規制に適合したクリーンエンジンです。

力強さを実感
パワフルな掘削力

●バックホウ
アーム

**1,250 kN
(127.0 tf)**

バケット

**1,420 kN
(144.0 tf)**

●ローディングショベル
アーム

**1,660 kN
(170.0 tf)**

バケット

**1,560 kN
(159.0 tf)**

掘削性の良い
大容量バケット

掘削および積込み性のよいバケットの形状です。さらに、大きなバケットチルト角によりバケット効率が向上しました。

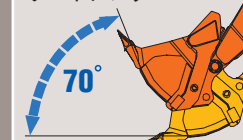
●バックホウ

29.0 m³

●ローディングショベル

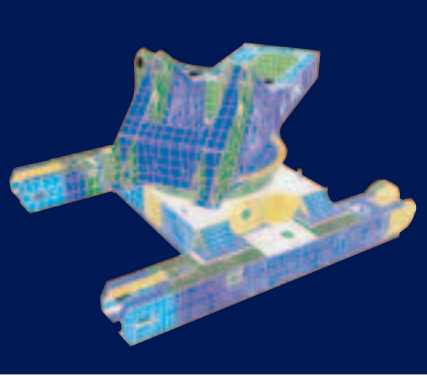
27.0 m³

チルトアングル

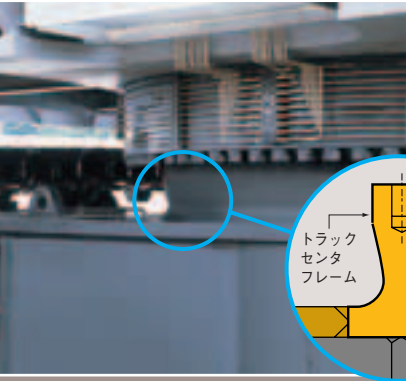


〈注〉このカタログに掲載されている写真は、オプション品を含みます。

曲げやねじりに強い
ボックス型メインフレーム
メインフレームは、ハードな作業
に威力を発揮するボックス型を
採用しました。



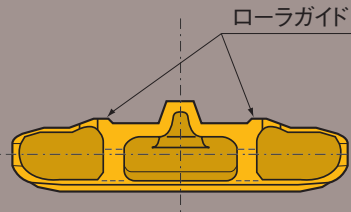
信頼性の高い
トラックセンタフレーム
トラックセンタフレームの旋回ベアリング取
付部は、一体鋳造構造で応力集中を
緩和し、信頼性を高めました。



寿命延長化を図った
トラックシュー
日立超大型油圧ショベルで実績
のあるローラガイド構造を踏襲し
ました。



**アキュムレータ式
異常張力防止装置**
足回りへの土砂かみ込みによる異常な張
力を、アキュムレータで吸収。
限界を超えたときは、走行を自動的に停止
します。



冷却効果をアップする
別置きオイルクーラ
ラジエータと別置きにオイルクーラ
を4基設置して、冷却効果を高め
ました。作動油温度を下げて油
圧機器類の耐久性の向上に寄
与します。



クリーンな作動油供給
高圧フィルタ
高圧フィルタは油圧ポンプの吐出ラインに
設置され、作動油を高圧でろ過します。
作動油をクリーンに保持し、油圧ポンプや
他の油圧機器の損傷を防止します。また
点検が容易な配置になっています。



耐久力 GIANT

優れた耐久力で
ランニングコストを低減。



操作性 GIANT

作業効率を高めるスピーディな操作性。

レバー1本で操作
水平押し機構 (ローディングショベル)

アームレバー1本の操作で自動的に水平押し掘削が行えます。

『キビキビ』&『応答性』
フロント複合操作

8つのメインポンプと4つの旋回優先用ポンプにより、『旋回とフロント』、『旋回と走行』および『走行とフロント』などの複合動作がスムーズなOHS (最適油圧システム) により、高い作業性を実現します。



大作業量を実現
E-P制御システム

エンジン・ポンプを効率よく制御。現場の作業状況に応じたパワー、スピードが得られます。さらにエンジン出力を有効に使用するスピードセンシング式全馬力制御を採用し、大作業量と高い経済性を実現します。



快適性 GIANT

使いやすく、ゆとりの快適空間。

疲れの少ない
安全で快適な大型キャブ

落下物からオペレータを守るため、OPG*レベルII(ISO)に適合するヘッドガードを装備した加圧式キャブ。液体封入防振マウントを採用し振動の吸収、座り心地の良さ、キャブの耐久性向上を図りました。

*Operator Protect Guard

視認性に優れた
湾曲メータパネル

メータおよび警告灯などは前側に配置、スイッチ類は手元へ配置した扱いやすいレイアウトです。

容易に手が届く
効率的なキャブ内レイアウト

人間工学に基づいたキャブ内レイアウトにより、オペレータは容易な操作が可能で、疲労低減につながります。

快適さアップ
スライディングコックピット

操作レバーとシート全体、および個別に移動できるスライディングコックピットです。

快適な
デフロスタ付きエアコンディショナ

快適な温度を維持しながらキャブ内を加圧し、ダスト浸入を防止します。

下方視界の良い
フロント傾斜キャブ

キャブ前面の窓が前方に傾斜した構造と高いアイレベルで、足元の視界が良好。ダンプトラックの荷台が見渡せ、積載状態が確認ができます。

補助シート

オペレータの後に指導用にも使える補助シートを設置しました。

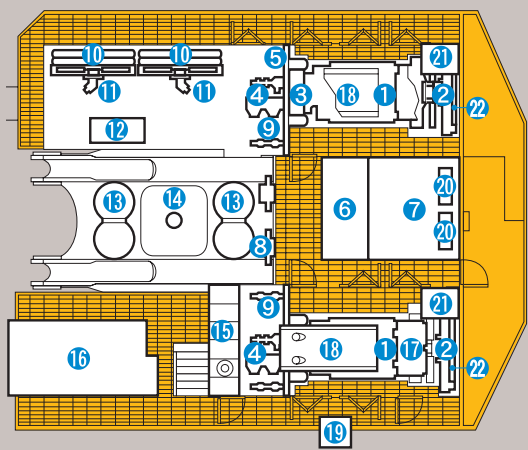


整備性 GIANT

気配りの点検整備を実現、
トータルコストを低減。

日常点検が楽な 機器レイアウト

アクセスがしやすい通路と機器の合理的な集中配置により、日常のメンテナンスが楽に行えます。



- | | |
|-----------------|-------------------|
| ① ディーゼルエンジン×2個 | ⑫ 給脂装置 |
| ② ラジエータ×2個 | ⑬ 旋回装置×4個 |
| ③ ポンプ駆動ユニット×2個 | ⑭ センタジョイント |
| ④ 油圧ポンプ×12個 | ⑮ バッテリーユニット |
| ⑤ エンジン・ポンプ隔壁×2個 | ⑯ キャブ |
| ⑥ 作動油タンク | ⑰ エアフィルタ×4個 (外/内) |
| ⑦ 燃料タンク | ⑱ マフラ×2個 |
| ⑧ コントロールバルブ×6個 | ⑲ スライド式はしご |
| ⑨ 高圧フィルタ×12個 | ⑳ 燃料クーラ×2個 |
| ⑩ オイルクーラ×4個 | ㉑ ウォータタンク×2個 |
| ⑪ ファンモータ×2個 | ㉒ LTAラジエータ×2個 |

整備・点検作業をスムーズに 大きな点検スペース

随所に広い開口面積を持つ点検扉、センタ通路およびカウンタウエイト側からの機械中央に広いオープンスペースを確保し、整備・点検作業がさらにスムーズに行えるようになりました。



分離化を図った エンジン・ポンプ隔壁

エンジン室とポンプ室の間に隔壁を設け、分離化を図りました。

夜間降車時用 タイマ付きステップライト

オペレータの乗降時の安全を確保するため、タイマ付きステップライトを装備しました。(1分間点灯)

乗り降りに便利な スライド式はしご

キャブ、建屋への乗り降りに、便利なスライド式はしごを装備、破損しにくい左横に設置しました。

エンジンオイル 交換時間を2倍に延長

250時間 (当社従来機) ▶ 500時間

エンジンオイルフィルタ 交換時間の延長

新型オイルフィルタの採用により交換時間が大幅に延長しました。

250時間 (当社従来機) ▶ 500時間

作動油フルフローフィルタエレメント 交換時間の延長

エレメント寿命延長、作動油清浄度アップを補強し、エレメントと作動油の交換時間延長を実現します。

250時間 (当社従来機) ▶ 500時間
作動油交換 2,000時間 (当社従来機) ▶ 4,000時間
(注:日立純正ニューランディHN使用時)

日常給脂作業の削減 自動給脂システム

フロントジョイント部や旋回輪への給脂を自動的に行います。日常の面倒な給脂作業が楽になります。

集中給油システム (オプション)

エンジンオイル・燃料・冷却水・作動油・グリースなどを一括して充填可能です。



メンテナンスを容易に フィルタ類の集中配置

フィルタ類をセンタ通路周辺に集中配置、点検やメンテナンスを容易に行うことができます。



メンテナンス性に優れた 容易なバケット爪の交換

メンテナンスしやすく設計されたバケット爪とサイドシュラウドにより、保守時間が短縮されました。

工具などの運び込みに便利な 24ボルトDCクレーン (オプション)

点検整備作業時に使用する工具一式や、その他重量物を本体上部に運び込むために便利なクレーンで、保守時間が短縮されます。

ちり・ほこりを分離、排出 ダストエジェクタ (エアクリーナ)

空気中のちりやほこりを自動的に分離／排出して、エレメントの清掃と交換インターバルを延長しました。

ポンプの異常をチェック ポンプコンタミネーション センサ

ポンプの異常をチェックできる装置です。ポンプ破損前に感知できるので、予防保全が図れます。



バッテリーアース 遮断スイッチ

整備作業、長期休車時は配線を外すことなく、バッテリーアースを遮断できます。



環境

オートアイドル

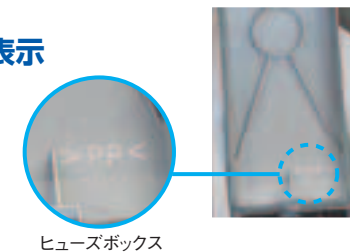
燃費を向上するとともに騒音も低減するオートアイドルを装備しました。

排出ガス対策型 クリーンエンジンを搭載

EPA (米国環境保護局)、排出ガス1次規制にも適合したクリーンエンジンです。

リサイクルを考慮し、 樹脂製部材に材料名を表示

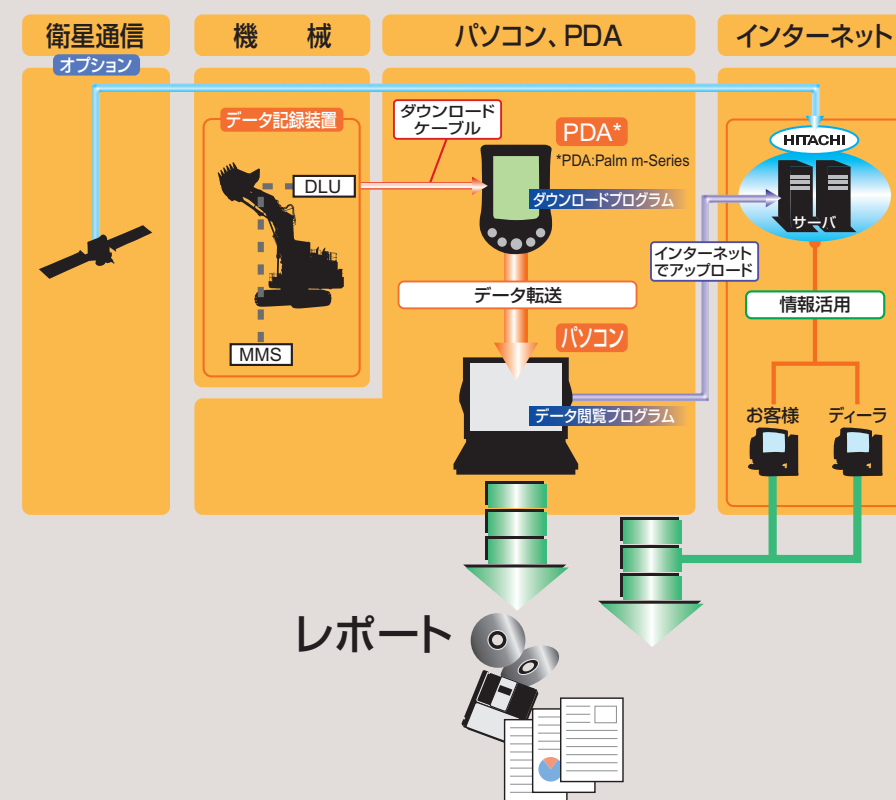
リサイクルを考慮、樹脂製部材に素材を表示しました。



- EPA排出ガス1次規制をクリア
- 油脂／フィルタの定期交換時間の延長

日立超大型ショベルモニタシステム

機械の稼動状況や各種警告の発生状況を検出するとともに、それらを記録するシステムです。このシステムのメインユニットとなるDLU (データロギングユニット) は絶えずエンジンおよび油圧システムの稼動状況やセンサ故障などの警告を記録します。記録された情報はパソコンで閲覧することができます。



レポート

仕様 (バックホウ)

		EX5500-5
		バックホウ
仕様		
運転質量	kg	518,000
標準バケット容量 (新JIS)	m³	29.0
標準シュー幅	mm	1,400
性能		
接地圧	kPa (kgf/cm²)	230 (2.35)
旋回速度	min ⁻¹ (rpm)	3.3
走行速度 高／低	km/h	2.3 / 1.6
登坂能力	度 (%)	30 (60)
最大掘削力	アーム kN (kgf)	1,250 (127,000)
	バケット kN (kgf)	1,420 (144,000)
エンジン		
名称	カミンズ QSK45-C	
形式	ターボ付き直接噴射式	
定格出力	kW/min ⁻¹ (PS/rpm)	971 / 1,800×2 (1,320 / 1,800×2)
総行程容積 (総排気量)	L (cc)	45×2
油圧装置		
油圧ポンプ形式	可変容量形ピストン式×12	
主リリーフ弁セット圧	MPa (kgf/cm²)	29.4 (300)
旋回油圧モータ形式	定容量形ピストン式×4	
走行油圧モータ形式	可変容量形ピストン式×4	
駐車ブレーキ形式 (旋回・走行)	機械式	
油・水類の容量		
燃料タンク	L	10,400
作動油タンク	L	全量 2,200
エンジンオイル	L	260×2
冷却水	L	380×2

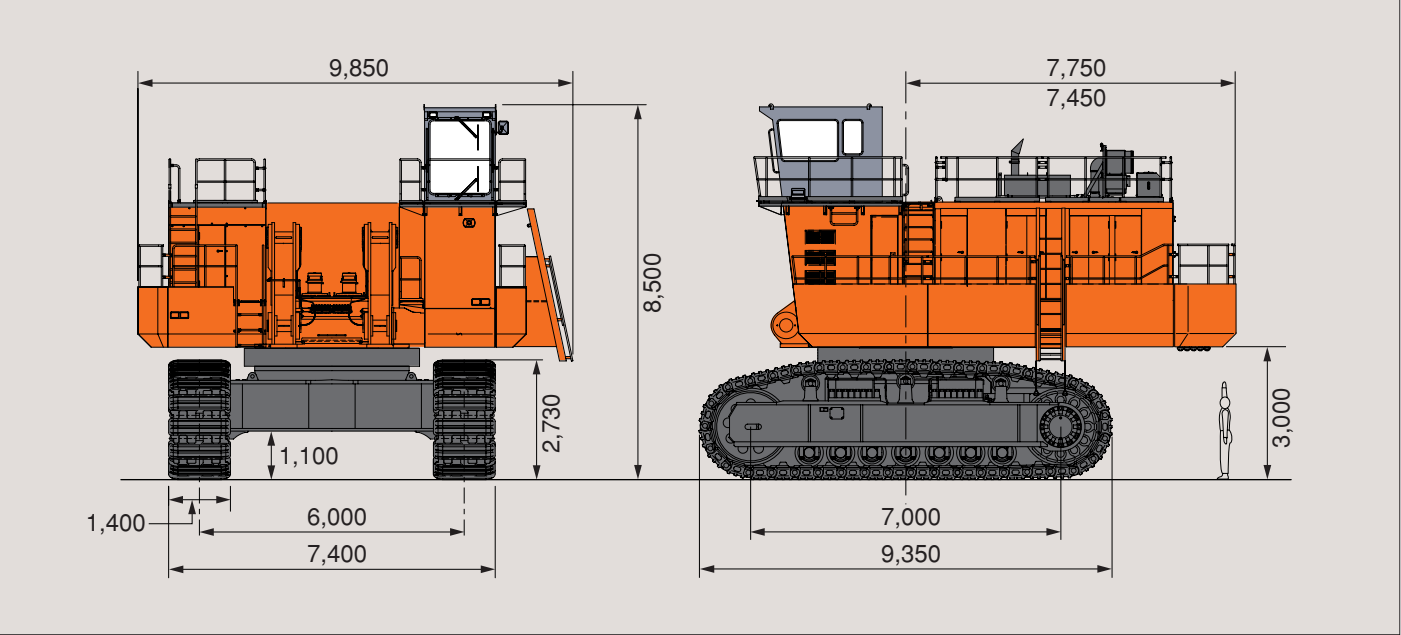
〈注〉単位は、国際単位系 (SI) による単位表示です。() 内は、従来の単位表示を参考値として併記したものです。

各種バケット (バックホウ)

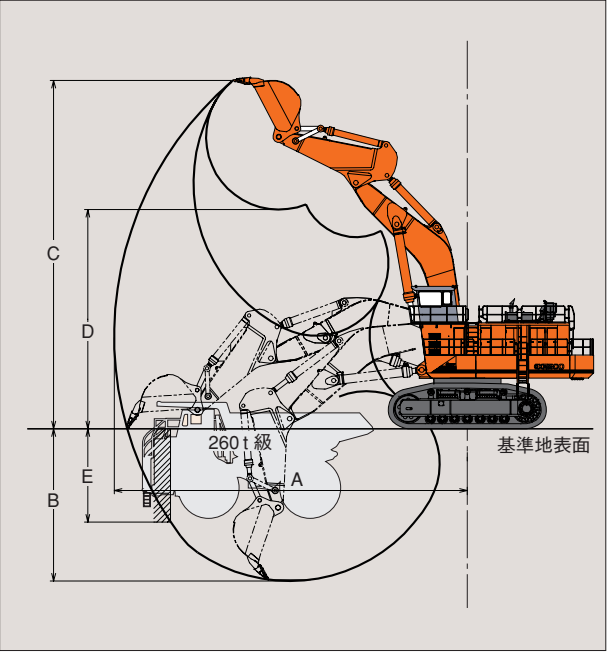
容量 m³	幅 mm	爪数 本	質量 kg	10.6 mブーム
山積 新JIS	サイドシュラウド 付き			5.3 mアーム
29.0	4,150	5	29,200	◎

◎：一般掘削

寸法図



作業範囲図 (バックホウ)



作業範囲 (バックホウ)

フロント長さ	ブーム	10.6 m
	アーム	5.3 m
A 最大掘削半径		20,900
* B 最大掘削深さ		9,000
* C 最大垂直掘削深さ		5,500
* D 最大掘削高さ		20,600
* E 最大ダンプ高さ		13,000

〈注〉*印寸法はシュールラグ高さを含みません。

仕様 (ローディングショベル)

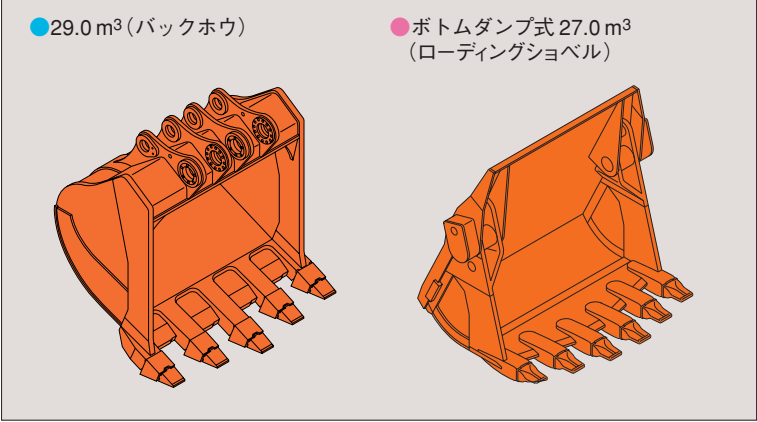
		EX5500-5
		ローディングショベル
仕様		
運転質量	kg	518,000
標準バケット容量 (新JIS)	m³	27.0
標準シュール幅	mm	1,400
性能		
接地圧	kPa (kgf/cm²)	230 (2.35)
旋回速度	min ⁻¹ (rpm)	3.3
走行速度 高／低	km/h	2.3 / 1.6
登坂能力	度 (％)	30 (60)
最大掘削力	アーム kN (kgf)	1,660 (170,000)
	バケット kN (kgf)	1,560 (159,000)
エンジン		
名称	カミンズ QSK45-C	
形式	ターボ付き直接噴射式	
定格出力	kW/min ⁻¹ (PS/rpm)	971 / 1,800×2 (1,320 / 1,800×2)
総行程容積 (総排気量)	L (cc)	45×2
油圧装置		
油圧ポンプ形式	可変容量形ピストン式×12	
主リリーフ弁セット圧	MPa (kgf/cm²)	29.4 (300)
旋回油圧モータ形式	定容量形ピストン式×4	
走行油圧モータ形式	可変容量形ピストン式×4	
駐車ブレーキ形式 (旋回・走行)	機械式	
油・水類の容量		
燃料タンク	L	10,400
作動油タンク	L	全量 2,200
エンジンオイル	L	260×2
冷却水	L	380×2

〈注〉単位は、国際単位系 (SI) による単位表示です。() 内は、従来の単位表示を参考値として併記したものです。

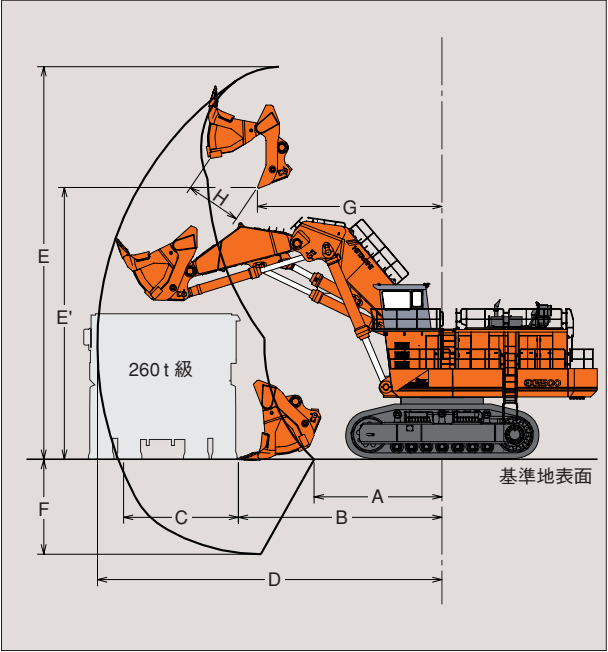
各種バケット (ローディングショベル)

容量 m³	幅 mm	爪数 本	質量 kg	タイプ
山積新JIS	mm			
27.0	4,700	6	43,300	一般掘削

バケット形状



作業範囲図 (ローディングショベル)



作業範囲 (ローディングショベル)

A 床面最小掘削半径	6,150
B 床面仕上げ最小掘削半径	9,800
C 床面水平作業距離	5,550
D 最大掘削半径	16,600
* E 最大掘削高さ	18,900
* E' 最大ダンプ高さ	13,100
* F 最大掘削深さ	4,550
G 最大ダンプ高さ時半径	8,900
H 最大バケット開口幅	2,700

〈注〉*印寸法はシュールラグ高さを含みません。

主要装備品

全仕様共通基本装備品

油圧システム

- E-P制御
- OHS
- オートアイドル
- 油圧駆動クーリングファンシステム

安全装備品

- ロックレバー
- シートベルト
- 緊急脱出用ハンマ
- 緊急脱出装置(オリロー)
- キャブ右窓ガード
- 作業灯
- 可倒式作業灯
- サイドウォーク&大型手すり
- 強化型昇降ステップ、はしご&大型手すり
- エンジン・ポンプ隔壁

キャブ／室内装備

- ヘッドガード一体型加圧式キャブ
- デフロスタ付きエアコンディショナ
- 調整可能アームレスト付きリクライニングシート
- モニタパネル&スイッチパネル
- デジタル時計付きオートチューニングAM/FMラジオ
- 平行リンク間欠ワイバ
- フロアマット
- 12V電源端子、24V電源端子
- 強化ガラス(サイド・リヤ)
- 液体封入防振ゴム

その他

- 日立超大型ショベルモニタシステム
- EPA排出ガス1次規制対策型エンジン
- ホースリール付き油圧式グリースガン
- ウレタン塗装
- 標準工具一式

全仕様共通オプション品

- 衛星通信データ転送システム
- 走行モータガード
- 走行装置ガード
- 後・側面カラーモニタ カメラ
- ディスチャージライト



東京都文京区後楽2-5-1 〒112-8563
営業統括本部 ☎(03) 3830-8040
URL : <http://www.hitachi-kenki.co.jp>

- カタログに記載した内容は、予告なく変更することがあります。
- 掲載写真は、販売仕様と一部異なる場合があります。
- 機械を離れるときは、必ず作業装置を接地させるなど、安全に心掛けてください。
- 機体質量3トン以上の建設機械の運転には「車両系建設機械運転技能講習修了証」の取得が必要です。
- 運転資格の詳細については、下記教習所へお問い合わせください。

資格取得のご相談は(株)日立建機教習センタの各教習所へ

教習センタ	TEL.048-931-0121	神奈川	TEL.042-730-6716
北海道	TEL.0133-64-6388	山梨	TEL.0120-493-160
宮城	TEL.022-364-6143	愛知	TEL.0564-57-7123
埼玉	TEL.048-931-0121	京都	TEL.075-957-4944
茨城	TEL.029-828-2370	岡山	TEL.086-464-5411
水戸	TEL.029-352-0285	福岡	TEL.092-963-3634
群馬	TEL.027-230-5311		



正しい操作と、周囲への思いやりは、安全作業の第一歩です。
ご使用の前に、必ず「取扱説明書」をよく読み、正しくお使いください。

●お問い合わせは…